



# まんだらげ



## 発刊のご挨拶

病院長 板倉 徹

創刊号

2007.6

ここに和歌山県立医科大学附属病院広報誌「まんだらげ」を発刊いたします。本附属病院は和歌山県唯一の教育基幹病院として、最も高度で先進的な医療を行うことを使命としています。また都道府県がん拠点病院として厚生労働省から指定を受けた和歌山県唯一のがん診療の最先端病院です。がん以外にも循環器、消化器、呼吸器やリハビリテーション、さらに各種感覚系疾患

の最先端医療を担っています。さらにドクターヘリを導入するなど、県民の皆様を守るべく救急医療にも力を入れています。高度で先進的な医療を安心して県民の皆様に受けていただけるよう、職員一同患者様本位の心のこもった医療を実践いたします。この広報誌を通じて皆様方に私たちの病院についてご理解いただき、今後のご指導とご支援を切にお願いするところです。



## CONTENTS

- 院内とびっくす
- 診療科紹介 / 糖尿病・内分泌代謝内科  
リハビリテーション科
- くるーずあっぷ / 地域連携室
- お薬の豆知識 / 飲み方
- 栄養ワンポイントアドバイス

### 広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の学章にも採用されています。

4 地域の中核病院として、和歌山の保健医療を推進します。

3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。

2 高度で先進的な医療の研究をすすめる、その成果を反映した医療を行います。

1 患者さまとの信頼関係を大切にし、安全で心のもった医療を行います。

### 基本方針

**理念**  
私達は患者さま本位で、質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

## 院内とびっくす

### 空飛ぶER、 ドクターヘリ



平成15年から導入したドクターヘリの年間出動回数は約350回。県内で起きた交通事故や労災事故などで、重症患者を一刻も早く搬送する必要がある場合に医科大学屋上にあるヘリポートから県内各地へ出動します。出動要請があると、スタッフは秒単位で準備をして飛び立ちます。事故現場や患者発生場所付近の小中学校の校庭などに着陸して、救命処置を行い、医科大学に搬送してきます。特に重症の外傷患者さんは1時間以内に手術をする必要があるといわれていますので、山間部の多い和歌山県内ではドクターヘリは必要不可欠です。

### 本県で唯一の 県がん診療連携拠点病院に指定 質の高いがん医療を推進

和歌山県立医科大学附属病院は、今年1月31日付けで厚生労働省から県内唯一の「県がん診療連携拠点病院」として指定を受けました。

今後、県内の地域がん診療連携拠点病院と協力し、医療従事者の研修や医師の派遣等による診療支援などを積極的に推進します。当院が本県の中心ながん診療機能を担いながら、県内の拠点病院間の密接な連携を図り、質の高いがん医療を提供できるようがん診療ネットワークを構築していきます。

### 診療科紹介

## 【糖尿病・内分泌代謝内科】 糖尿病の診療・研究は 世界トップレベル

糖尿病・内分泌代謝内科は、糖尿病、内分泌代謝疾患、消化器疾患の専門医を擁し、関連疾患を中心に最先端の総合的治療を提供することをめざしています。特にインスリンの構造変異を発見した南條輝志男教授はじめ、専門医スタッフの糖尿病における診療・研究は世界のトップレベルを誇っています。患者様一人ひとりの特性を評価し、専門医、管理栄養士、薬剤師、看護師が総力を結集し、その症状に応じた治療法を選択。外来及び入院中の患者様の療

養指導を行っています。年間の外来受診者数

は延べ1万9000人～2万1000人。また、国内外の研究者と連携して、新たな医療の創出に力を注いでおり、今年7月20日、21日「第44回日本臨床分子医学会学術集会」を和歌山東急インで開催。さらに昨年からは「糖尿病対策推進会議」の事業計画に沿って発病・進行予防に取り組んでいます。



## 【リハビリテーション科】 急性期リハの実践をめざして

リハ科は①患者様第一主義で臨床に取り組む②リハ医学の基礎・臨床・研究の推進③優れた医療人とリハチームの育成を基本方針に掲げ、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士ら25名のスタッフが一丸となって、県民の皆様にも最善の医療とリハを提供するため努力しています。主に脳血管疾患や心臓血管疾患、関節等の運動器疾患そして内科等の呼吸器疾患などを対象に、発症直後の超急性期から、時には手術前からリハを行っています。そのため、患者様のリスク管理には十分配慮し、毎日適切なリハが実践できるよう病棟回診や検討会

を実施しています。特に和歌山県では救命救急医療体制の充実に伴うドクターヘリの導入により、重症重複障害患者様が対象となるケースが増加しており、さらなる急性期リハの充実をめざしています。また、今後は予防医学の観点から健康高齢者の方々や障害者の方々の健康管理を含めた事業を企画し、健康増進やQOL向上に少しでも寄与していきたいと考えておりますのでご協力を宜しくお願いします。



# くるーずあっが

## 患者様を総合的にサポート 【地域連携室】

地域の医療機関との連携を推進し、患者様に対する医療サービスの向上をめざして、昨年4月に「地域連携室」が発足しました。医療ソーシャルワーカーと看護師が患者様や院内スタッフからの相談に対応しています。主な業務は、①地域医療機関からのファックスによる紹介患者様の予約と連絡調整 ②退院が困難な入院患者様の退院、転院及び、在宅療養のための支援③社会福祉制度、介護保険、年金、手当てなどの社会保障制度に関する相談。それぞれ



相談受付時間  
9時～17時 月曜～金曜  
(祝日・年末年始を除く)

こんな相談内容に  
応じています。

- ・医大に入院中ですが転院先、施設入所、在宅療養について
- ・医療費の支払いに不安がある
- ・介護保険の利用方法について知りたい
- ・車椅子やベッドが必要
- ・訪問看護を受けたい
- ・その他

の患者様の病状や環境などを考慮しながら、医療・保健、福祉などの面から総合的に支援します。

## 感染症 Q&A

いんとうけつまくねつ  
咽頭結膜熱(プール熱)

ピークは7、8月、小児に多く発症

**Q1** 咽頭結膜熱とはどのような病気ですか。

**A** 6月から徐々に流行しピークは7、8月。プールでの接触やタオルの共用により感染することもありプール熱とも呼ばれ、小児に多い病気。アデノウイルスの感染により、発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状がでます。

**Q2** 咽頭結膜熱の予防法は。

**A** プールの後はシャワーを浴び、目をしっかり洗い、うがいを。タオルなどは別に。

**Q3** 咽頭結膜熱にかかったら

**A** 高熱が長く(5日前後)続くことがあります。ほとんど自然に治りますが、吐き気や頭痛、せきが激しいときは早めに医療機関へ。

## お薬の豆知識



シリーズ①「飲み方」  
～薬剤部から～

お薬は決められた方法に従って正しく飲まなければなりません。勝手な飲み方をすれば本来目的としない作用が現れることがあります。

- 食前＝食事の30分くらい前
- 食後＝食事のあと30分くらいまで
- 食直前＝食事の直前(5分以内)
- 食直後＝食事がすんだらすぐ
- 食間＝食事の約2時間後(食事の最中に飲むことではありません)
- 就寝前＝寝る前の30分くらい前までの間
- 起床時＝起きてすぐ

※薬は十分の量(コップ1杯程度)の水で飲む



## 栄養ワンポイントアドバイス【病態栄養治療部】



糖尿病などの疾病は退院後の食事療法が重要なのでマンツーマン指導によりきめ細かな指導を行っています。

病態栄養治療部のスタッフは2名の医師と5名の管理栄養士。入院・外来の患者様への栄養食事指導では、マンツーマンで相談に応じるほか、糖尿病教室や心臓病教室なども開催しています。昨年度行った栄養食事指導は約1200件。

一方、入院患者様の食事は症状に応じて用意しています。6月からは毎週火曜、木曜、土曜の夕食メニューが2種類から選べるようになり、入院患者様に好評です。

### ONE POINT

夏には素麺が人気を集めます。暑さのために素麺だけで済ませてしまいがちですが、素麺だけでは栄養バランスが偏ってしまいます。魚やお肉、野菜など通常のおかずも合わせて、栄養バランスよく食べて夏バテにならないように。

受講無料  
お気軽にご参加下さい。

## お知らせ

平成19年度生涯研修・地域医療支援センター研修会  
「最新の医療カンファランス」

場所 - 和歌山県立医科大学  
生涯研修・地域医療支援センター研修室  
(図書館棟3階)

日時 - 第2木曜(8月を除く)午後3時～午後5時

「明日を生き抜く医療知識と実践・ここまで進んだ病気の診断と治療」をテーマに、専門医がそれぞれの疾患について、よりわかりやすく、詳しく説明してくれます。

7月12日(木)「第3回 胃腸の病気」

○消化器癌に対する最新内視鏡治療の現状  
講師・医大・消化器内科 柳岡公彦

○肝癌撲滅への総合戦略  
講師・医大・消化器内科 玉井秀幸

9月13日(木)「第4回 整形の病気」

○変形性関節症に対する運動療法  
講師・医大・リハビリテーション科 山本義男

○肩、膝、股関節の痛みの原因と治療  
講師・医大・整形外科 築瀬能三

## 募集



### 和歌山県立医科大学 看護師、助産師募集

#### ■募集期間

第1回 平成19年6月15日(金)～平成19年8月14日(火) 消印有効  
第2回 平成19年8月15日(水)～平成19年10月1日(月) 消印有効

#### ■試験日

第1回採用試験＝平成19年8月25日(土) 会場＝和歌山市、新宮市  
第2回採用試験＝平成19年10月13日(土) 会場＝和歌山市

\* 試験は小論文、面接、適正検査

#### ■試験区分と採用予定人員、職務内容

採用予定人員は看護師、助産師、計120人程度。職務内容は附属病院等における看護師・助産師業務

#### ■採用予定日 平成20年4月1日

#### ■勤務場所 和歌山県立医科大学附属病院(和歌山市)

#### ■受験資格

看護師、助産師いずれも各免許を有する者、または平成20年春の国家試験により免許取得見込みの者、三交替勤務が可能な者等

#### ■採用試験等のお問い合わせ

医科大学事務局総務課 TEL 073-447-2300(内線5711)

#### ■病院見学等看護関係についてのお問い合わせ

附属病院看護部管理室 TEL 073-447-2300(内線2445)

採用の案内は本学ホームページにも掲載しています  
<http://www.wakayama-med.ac.jp/oshirase/kangobosyu.html>



### 院内に流れるピアノの音色に心が和む

病院内で和みの時間をもってもらおうと、ボランティアで上野山彩子さんと津村洋子さんがピアノ演奏しています。津村さんは「約2年間続けています。日本の唱歌や映画音楽など、馴染みのある音楽を選んで演奏しています。演奏は1回で18曲程度。病院内でホッと一息つけてもらえる和みの時間を提供できたらと思っています」と話します。待ち合いの合間にピアノの音色に癒されてみませんか。



演奏場所 病院棟2階正面玄関ホール  
演奏者 第1・3火曜日 上野山彩子さん  
第2・4火曜日 津村洋子さん

#### 診療予約について

当院での診療は、予約制を原則としています。次回の診療予約は、診療時に医師とご相談ください。

他の医療機関からの当院あての紹介状をお持ちの方は、電話で診療の予約ができます。必ずお手元に紹介状をご用意の上、電話予約センターへお電話ください。

#### 電話予約センター

受付時間 月～金 午前8:30～午後4:00 TEL 073-441-0489  
【祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く】

電話をしていただく時間帯により、回線が大変ごみ合うことがあり、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご了承ください。

## 和歌山県立医科大学附属病院広報誌 まんだらげ〈創刊号〉

2007年6月発行

発行／和歌山県立医科大学附属病院  
〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

**TEL 073-447-2300**

【ホームページアドレス】

<http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital>

※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。

#### 外来受付時間

・受付時間 午前8時50分～午前11時30分  
(ただし、眼科新患は午前10時30分まで)

・再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)

・休診日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

次号発行は  
**9月1日**です。